

教育・学修支援の専門性に必要な能力ルーブリック行動特性まとめ(領域・項目・行動特性)

「教育・学修支援の専門性に必要な能力項目」の7つの領域のうち、ALPSプログラムが育成をめざす6つの領域について、その能力の内容を具体的に記述したものが「教育・学修支援の専門性に必要な能力ルーブリック(試案)」です。6つの領域について、「C:知識として身に付けている」から、「B:身に付けた知識を説明できる」「A:知識やスキルを実践の場の問題解決に応用できる」「S:知識やスキルを発展させ指導することができる」として4段階に体系的・段階的に示しました。

領域	項目	整理番号	行動特性
① 学生・学修・教育支援の内容	教育内容の把握	1	教育・学習の内容を把握している。
		2	様々な教育方法に関心がある。
		3	各専門分野の教育の動向に関心がある。
		4	カリキュラムマネジメントについて関心がある。
		5	学修に必要なアカデミックスキルについて理解している。
		6	学生が参加できる学内外の学習機会を把握している。
	学生・学修・教育支援の設計と実施	7	学内の教育環境・設備を把握している。
		8	ひとりひとりの学生が大学で学ぶ目的を自覚するのを助け、それぞれの学びの目的に合った専攻分野の選択や科目の選択を支援する。
		9	学生・学修・教育支援の方法を選定する。
		10	学生を観察して、マーケティングできる。
		11	学生・学修・教育支援の内容を選別し、選定する。
		12	学生の諸活動を調整し、全体としてまとめる。
		13	効果的な教材の利用、開発に関心がある。
		14	教職員の学生支援に対する理解を促進する。
	学生・学修・教育支援活動のプログラム改善	15	学生・学修・教育支援の活動・プログラムの満足度などを測定する。
		16	学生・学修・教育支援の活動・プログラムを評価し、検証する。
		17	学生・学修・教育支援の活動・プログラムを改善につなげる。
	学生・学生支援の現状理解	18	学生や学生支援の現状を把握している。
		19	学生の特徴・性格に関する知識をもっている。
		20	現代の学生の状況を理解している。
		21	学生の現代的な行動を知っている。
		22	学生理解のための基礎的事項を学んでいる。
		23	学生の特徴と大学の学生に対する影響を知っている。
		24	現代の学生・若年者をめぐる課題や問題状況に関心がある。
		25	留学生への支援のあり方に関心がある。
		26	性、人種、国籍等の多様性を理解している。
		27	学生の学習や発達についての専門的な知識に関心がある。
		28	学生の支援ニーズを調査し、把握する。
② 担当業務の内容		課題の設定と問題解決	29
	30		課題を見つけて、解決方法を見出す。
	31		取組の見通しを的確に示す。
	32		新しい企画・提案をする。
	33		課題とこれからの方向性をはっきりさせる。
	34		戦略プランニングの手法を持っている。
	情報収集・整理・分析・発信	35	学生や教育に関する情報の管理についての法令を理解している。
		36	データや統計を使用した実態の把握を意識している。
		37	資料収集や調査等の方法を理解している。
		38	関連機関等から情報を収集する。
		39	文献や資料を収集し、分析する。
		40	所属大学の他箇所や他機関の事例を参照する。
		41	先進的な取り組み事例を把握する。
		42	同僚の考えや想い、アイデアに耳を傾ける。
		43	情報を整理する。
		44	伝わりやすい情報に加工する。
		45	客観的データを提示する。
		46	効果的に情報を発信する。
47	情報探索の結果をまとめ、効果的に伝える。		
48	業務をデータで残し、整理し、引き継ぐ。		
業務に関する知識	49	業務に必要な知識を持つ。	
	50	業務についての専門知識を持つ。	
	51	大学の予算・会計について理解する。	
様々な経験とその活用	52	様々な業務経験がある。	
	53	教育の経験がある。	
	54	留学経験がある。	
	55	研究の経験がある。	
③ 大学についての知識	高等教育・社会・教育に関する知識	56	高等教育の制度や歴史を理解している。
		57	大学という組織自体の特性を理解している。
		58	大学やそれを取り巻く環境に関する知識を持っている。
		59	大学教育関係の法令や近年の施策の流れを理解している。
		60	文部科学省や中央教育審議会等の政策文書を読んでいる。
		61	学校教育法や大学設置基準等の関連法規を理解している。
		62	単位制度について説明できる。
		63	高等教育の諸制度の内容とそれらへの対応方法を理解している。
		64	最新の就職活動事情や企業に関する知識を持っている。
		65	いじめ、ハラスメントに関する理解と対応を知っている。
		66	カリキュラムの基礎知識を持っている。
		67	学生の発達理論を知っている。
		68	教育学の知識を持っている。
		69	教育工学の知識を持っている。
		70	心理学および社会学の知識を持っている。
		71	専攻領域やそのカリキュラムを熟知している。
		72	インストラクショナル・デザインの知識・スキルを持っている。

⑦ 基礎的スキル	キャリアアップ・スキルアップの取組	155	キャリアアップ/スキルアップの取組を行う。
	ICTスキル	156	コンピュータの活用能力を持っている。
		157	ICTリテラシーを持っている。
		158	事務システムの運用能力を持っている。
		159	ICT等の新しいテクノロジーに対応する。
		160	社会常識に照らして検討する。
	物事を広くみる力	161	幅広い視野から職務を見通すことができる。
		162	先見性・先を見る力を持っている。
		163	英語で業務を進める。
	語学	164	英語等の外国語の学習を行っている。
		165	英語以外の外国語で業務を進める。
		166	疑問を持つことを意識している。
	クリティカルシンキング	167	批判的なものの見方を持っている。
		168	論理的思考を意識している。
		169	批判的かつ創造的思考を持っている。
		170	アイデアを出す能力を持っている。
	説明できる力	171	意見を的確に判りやすく伝えるプレゼンテーション能力を持っている。
		172	取組の目的やねらいを表現する力を持っている。
		173	人前で話す際の能力を持っている。
	文章作成能力	174	文章作成力を持っている。
175		論文作成力を持っている。	
メタ的な能力(社会人としてのコンピテンシー)	176	自分の意見を持っている。	
	177	健康・体力を維持している。	
	178	冷静な判断力を持っている。	
	179	クレームに対応することができる。	
	180	信頼関係を構築することができる。	